

# ひしもにた

## 議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



高校生 45 人が一般質問を傍聴



めざせ目標 1000 人 NHKラジオ体操会（8月21日）

### あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

<b>主な 内容</b>	平成28年度一般会計補正予算	2
	一般質問	3~7
	委員会報告	8
	審議結果	9
	シリーズ消防団	10

# 平成 28 年度一般会計補正予算

## 歳入歳出それぞれ 2,952 万円を増額

(万円)

	事業名	主な内容	補正額
歳入	一般寄付金	県町村会から少子化対策への目的寄付	2,000
	財政調整基金繰入金	6月補正後残高 (約 10 億 8,300 万円)	546
	魅力あるコミュニティ助成事業助成金	下町へ (公益財団法人 群馬県市町村振興協会)	158
	一般コミュニティ助成事業助成金	仲町区へ (財団法人 自治総合センター)	240
	緊急空き家対策費所有者負担金	緊急空き家対策で実施した場合の所有者負担金	7

	事業名	主な内容	補正額
歳出	まちづくり推進費	魅力あるコミュニティ事業 158 万円 (発電機、太鼓、桶型提灯等) 一般コミュニティ事業 240 万円 (太鼓、山車修繕、半纏、紅白幕等)	398
	調査及び賦課徴収	家屋図作成業務委託料 △ 294 万円 評価替えに係る鑑定委託料 524 万円	229
	共通事務費	子育て支援基金積立金 2,000 万円	2,000
	生活環境保全 (新規)	空家対策協議会委員報酬 9 万円 緊急空家対策 (安全措置) 15 万円 老朽空家除却費補助金 @ 20 万円 × 15 件	324

(万円未満切り捨て)

### ■議員辞職のお知らせ

高瀬政信議員から、平成 28 年 6 月 30 日付けで議員辞職願が提出され、同日付で議長が辞職を許可した。

### 第 2 回

### 定例会の概要

#### ▼開会日・一般質問 (6月6日)

会期を 15 日までとする決定を行い、4 名の議員が、それぞれ町の対応や考えを聞いた。また、

#### ▼議案の上程 (7日)

報告 3 件、教育委員会教育長の人事案件、専決処分承認など議案 11 件を上程し原案通り同意・承認・可決した。

また、平成 28 年度補正予算を予算決算特別委員会に、陳情 1 件を総務常任委員会に付託した。

さらに、議員提案で高瀬政信議員に対する辞職勧告決議を全会一致で可決した。

#### ▼総務常任委員会・予算決算特別委員会 (8日)

付託された案件の審査を行った。

#### ▼閉会日・採決 (15日)

総務常任委員長及び予算決算特別委員長が付託された陳情、議案の審査結果報告を行い、採決の結果、陳情は採択、議案は可決された。また、議員提案で意見書を可決し閉会した。

#### 表紙の説明

7 月の参院選から選挙権年齢が、18 歳以上に引き下げられるのを前に、県立下仁田高校の 3 年生 45 人が、定例会初日 (6 日) に議会一般質問を傍聴した。

傍聴席の都合で、2 班に分かれての傍聴だったが、じっくりと聞き入っていた。

終了後には、「難しい内容もあったが、理解できるものもあった」「傍聴している人がしゃべっていたのが気になった」「下仁田町をどうにかしたいという気持ち伝わってきた」といった感想が寄せられた。

傍聴していただきありがとうございました。

## 一般質問

# 町政を問う

### ■質問事項一覧 >>>

#### ◆岩崎 正春 議員 45分・・・4ページ

##### 博物館構想のその後

- ①博物館構想は、どの程度検討しているのか
- ②博物館の必要性と条件

##### 中学生の海外派遣について

- ①中学生の海外派遣や英語教育の必要性は
- ②海外派遣先の選定について
- ③参加負担金の在り方について

##### まち、ひと、しごと地方創生における地域力向上について

- ①地域力向上にはどのような施策か
- ②住環境、職場、子育ての充実の施策は

#### ◆岡田 邦敏 議員 30分・・・5ページ

##### 街灯の増設について

- ①町で管理している街灯は、どのくらい数があるのか
- ②4月末現在で、LEDタイプに変更されている数は
- ③特に通学路として、利用されている町道については、防犯上増設を必要とする考えはないか

#### ◆永井 正之 議員 30分・・・6ページ

##### 捕獲鳥獣の利活用と終末処理について

- ①平成27年度の捕獲数(種別、期別)は、また、捕獲奨励金の総額はいくらか
- ②食肉加工、販売の構想はあるか、また食肉にされる割合は
- ③現在の終末処理(販売、焼却、埋設等)は、どのようになっているか

#### ◆佐藤 博 議員 60分・・・7ページ

##### 企業誘致について

- ①計画及び誘致活動状況について
- ②学校跡地の活用は
- ③奨励制度等について

##### 自治体スマホ連絡協議会について

- ①協議会の規約運営について
- ②運営費について

##### 小中学校における、いじめ、不登校について

- ①現状について
- ②対応と対策について

(傍聴者 56人)

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、下仁田町議会のホームページでご覧になれます。

### 一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般(公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む)にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。



# ●博物館登録について

## 問 どの程度検討しているのか

答 博物館登録を目指したい



岩崎 正春 議員

議員 博物館法でいう、登録博物館とそのメリットは。  
教育課長 登録博物館になることにより資料収集に有利であること、特に自然史館の場合、専門職員がいないと、ジオパークの推進も館の運営にも支障が生じる。専門職員の育成ということも考え合わせると、博物館登録が一つの方策と考えている。あわせて、群馬県博物館連絡協議会に加

盟し、県文化振興課や協議会が出すリストやパンフレットにも歴史館、自然史館の施設が記載され、これに基づいてつくられるマスキミの資料とか、宣伝にもなることから、町の取り組み、姿勢が信頼を得る方策と考えている。自然学校の協力を得ながら、登録博物館を目指していきたい。  
議員 新たな施設ではなく、既存の施設で可能ではないか。

教育課長 博物館とい

うものは、立派な建物や施設があればいいというものではない。一番大事なのは、その施設の職員、その活動の仕方にある。博物館に必要なのは、博物館法で述べられている資料の収集、保管、展示、教育普及、調査研究の機能を果たしているかどうかという点にある。

# ●中学生海外派遣は

## 問 生徒全員参加で金にすべきだ

答 今後の課題で検討する

議員 参加費の負担のあり方について、どのような検討をしているか。

教育課長 海外派遣の目的は、英語教育だけではないので、今後全員が行けるような方策を考えていく中で、負担金のほうも負担額を減額

するなり、減らしていくような方策を考えていきたい。

# ●地方創生について

## 問 地方交付金の状況と今後は

答 これからは総合戦略計画が必要

議員 具体的な予算額は。

地方創生課長 平成27年度の地方創生関連の国からの交付金は、26年度補正分、9月補正分、12月補正分、3月補正分総額で1億3000万円余りが交付されている。  
議員 本年度からの計画は。

地方創生課長 内容的には、官民協働であったり、地域間の連携、それから政策関連系が求められたり、一番大きな特徴は、これまでの総合戦略に盛り込まれたというのが前提で、さらに地域再生計画と

いう新たな計画をつくり、この計画を内閣総理大臣の認定を受けるもの。この認定を受けないと、交付金の対象にはならない。この新交付金につきましては、交付率は50%です。ただし、単年度ではなくて、最長で5年間の継続が認められて

いる。  
副町長 この町のことを一番近くで、そして将来的に考えていくのは、やはり若い世代、私たちの世代だと思いますので、その点はしっかりと一点置きまして、進めていくというスタンスで進めた



地方創生の先行型交付金で作成

# ●街灯の増設について

## 問 財政難でも必要なものは検討してほしい

## 答 取り組んでいきたい



岡田 邦敏 議員

**議員** 町で管理している街灯は、何基ぐらいありますか。

**建設ガス水道課長** 現在町には、1059基の街灯が設置されています。

**議員** その中で、不要になっているところはありますか。

**建設ガス水道課長** 毎年、区長会で確認しているが、移設の希望はあるが撤去の連絡はな

**議員** 4月末現在で、LEDタイプに何%ぐらい変更しているか。

**建設ガス水道課長** 全体では、73基で6.9%。

**議員** LED化の比率が低いようだが、今後の思案も含め検討してほしい。

**建設ガス水道課長** LED器具は、1基あたり約1万6000円掛かるので検討をしている。

**議員** 町は財政難だから、ただお金がないと言っているだけではなく、必要なものは今後も検討してほしい。

**議員** 区長から地区住民に伝わっていない場合もあるのでは。

**建設ガス水道課長** 必要であれば、広報で知らせたい。

**議員** 街灯の年間維持費はどのくらい掛かるのか。

**建設ガス水道課長** 27年度は、合計517万円、1基あたり約5000円。

**建設ガス水道課長** 検討したい。

**議員** 今まで当町では大きな犯罪が発生していないが、テレビや新聞では痛ましい事件、事故が毎日報道されているのが現実。田舎だからと言って安心できる世の中ではありません。

暗い道がまだまだ多い。犯罪や事故が多いためでは遅い。どう考えるか。

**副町長** 通学路とか、子育て環境だけを考えれば、国や県に頼らずとも町単独でもやるべきところはあると思われる。

国や県で知らべると環境省の事業の方で、地域におけるLED照明導入促進事業、地域経済と連携した省エネの促進モデル事業等、今年度から出て来たものもたくさんある。

これは民間の団体の皆様、地域住民の方と一緒にやって、この活用をしていくことによってLED化を進め



他町村で設置されているソーラー発電・LED照明

**町長** 以前は、東電から街路灯の寄付があった。そう言ったときにはそれなりの考え方で、それぞれの地域で検証して設置してきた。通学路あるいは地

域住民の活動の場としても、明かりの必要性は感じている。

**副町長の言った、国の制度に従ってとらえて研究していく、またよりよい事業化に向けた対策をしていくということは、これからの課題だが、ここで敢えて取り組んでいこうとする趣旨を伝えたい。**

# ●シカ・イノシシ700頭捕獲

## 問 捕獲しても減った様子がないが

答 要請があれば捕獲したい



永井 正之 議員

議員 平成27年度に捕獲報償金が値上げになった。種別、期別の頭数は。

農林商工課長 表記の通りです。※表①

議員 これだけ多く捕獲しても、この春の現状を見ると減った様子は見られないが。

農林商工課長 要請があれば、猟友会の方に依頼し、捕獲をしていきたい。

## ●食肉加工、販売は

問 食肉加工、販売の構想はあるか

答 出荷制限があり流通していない

議員 国は、10年後までに、シカ・イノシシを半減させ、食肉の活用を推進している。町では、食肉加工、販売の構想はあるか。(多野・甘楽郡を含めても良い)

農林商工課長 放射能の関係で、一般に流通はしていない。一部焼却だが、ほとんどは埋設処理になる。

議員 埋設には、大変な労力がかかるため「大変だから捕らない」と

農林商工課長 平成23年の原発事故により、今でも県内で、部分的に放射性物質が検出されている。特別措置法により、県内全域に出荷制限が出されているため、一般には流通していない。もし、解除になれば、検討してみる必要性もあるのではないかと考えている。

議員 参考に、町での放射性物質検査数は。保健環境課長 表記の通りです。※表②

## ●大動物、小動物、864頭

問 終末処理の良い方法は

答 検討したい

議員 これらの終末処理は。

農林商工課長 放射能の関係で、一般に流通はしていない。一部焼却だが、ほとんどは埋設処理になる。

議員 埋設には、大変な労力がかかるため「大変だから捕らない」と

### ①平成27年度有害鳥獣捕獲頭数状況

		シカ	イノシシ	ハクビシ	サル	カラス	捕獲団体
猟期		174	27	0	0	0	下仁田猟友会
猟期以外	有害捕獲	348	78	91	12	55	下仁田猟友会
	有害捕獲	69	6	0	0	4	他、団体
	小計	417	84	91	12	59	
合計		591	111	91	12	59	

※報償金 平成26年240万 平成27年466万

### ②食品などの放射性物質検査数

	平成24年 8月～	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成28年 5月～
件数	180	82	47	14	0

(保健環境課資料)



保健センターにあるATOMTEX社製食品測定器



# ●学校跡地の活用は

## 問 企業誘致計画は

答 計画的には取り組めてない



佐藤 博 議員

議員 企業誘致の計画があれば伺いたい。

農林商工課長 工業団地等が整備されていないので、計画的な企業誘致に取り組めていないのが実情。

議員 工場団地等の計画は。

農林商工課長 今現在はありません。

議員 就任以来の活動状況等があれば伺いたい。

町長 問い合わせを受けたが進まなかった背景

という意見をいただいている。西牧小学校、西中学校については、具体的な活用計画はまだ未策定である。

議員 学校跡地は、地域の中心的な一番いい場所にある。統合を決めて10年、跡地の活用協議をしてもいいはず、非常に残念に思っている。学校跡地の活用を論議してほしい。

## 問 設立総会の会場費は

答 ふるさとスマホ(株)です

議員 自治体スマホ連絡協議会の発起人、設立総会では幹事に就任された。予算書があればいただきたい。

健康課長 自治体スマホ連絡協議会の規約には、会費に関する定めがありません。設立総会で、当面の間、年会費や負担金を徴収する予定がないため、議案書の中に会費や予算の記載がないということ承認

町長 馬山小学校跡地は、地元協議会の意見として、地域のコミュニケーション施設、災害避難場所として欲

をいただいている。議員 設立総会の経費負担はどこがされたのか。

健康課長 事務経費については、南砺市の事務局で対応しているという回答でした。議員 総会の会場、砂防会館の会場費は誰が払ったか。

健康課長 総会の会場使用料は、連絡協議会の顧問として加入をしている。ふるさとスマホ(株)で支払いをされたという回答でした。議員 ふるさとスマホの設立は昨年の7月28日、年内に自治体スマホ連絡協議会を発足させるとネットで公開していた。

自治体スマホ連絡協議会の顧問は、ふるさとスマホ(株)で、スマホを運営する業者と自治体スマホの一体感を感じる。業者主導の協議会、業者がスポンサー、協議会と業者が一体である。

町長 馬山小学校跡地は、地元協議会の意見として、地域のコミュニケーション施設、災害避難場所として欲

## 予算決算特別委員会

### ▼主な質疑

◆平成28年度下仁田町一般会計補正予算(第1号)

### 【歳入】

問 一般寄付金の内容は。

答 群馬県町村会から少子化対策目的の寄付金2000万円です。

問 コミュニティ助成事業は、どのような事業が対象となるのか。

答 魅力あるコミュニティ助成事業は、自治会、町内会が施設の設備、施設整備に助成をするもので、最近

は、催事、伝統芸能の備品に対して使われている。一般コミュニティの10万円単位で助成が受けられる。

両助成事業ともに助成金が町を経由して地区に支払われる。区長会と広報でお知らせをしている。受付窓口は地域創生課。

町長 町の文化財に認定さ

れていなくても利用できるか。

答 利用できるが、申請後に県の審査を受けていただき、少額であったり、内容が合致しない場合には受付段階で排除される。

問 具体的なことだが、集落の神社でお祭りをやっている。しかし、太鼓の修繕には大金がかかるので地区で負担しきれない状況がある。このようなことが対象になるのか。

答 魅力あるコミュニティ助成事業は、上限200万円まで、一般コミュニティ助成事業は、100万円から250万円まで

町長 馬山小学校跡地は、地元協議会の意見として、地域のコミュニケーション施設、災害避難場所として欲

町長 馬山小学校跡地は、地元協議会の意見として、地域のコミュニケーション施設、災害避難場所として欲

問 衛生費関係収入  
7万5000円の内容  
は。

答 「空家等対策の推進  
に関する条例」第7条  
に基づき、緊急安全措  
置を実施した場合、所  
有者が判明する場合に  
徴収する金額。歳出予  
算額15万円の半分程度  
は所有者が判明し徴収  
できると見込んでい  
る。

### 【歳出】

問 環境衛生費、報酬  
9万6000円の内容  
は。

答 報酬を支払う委員8  
人に、3000円を支  
払う協議会を年4回開  
催する積算となってい  
る。

問 当初は8人の委員で  
スタートするのか。

答 委員構成は、町長、  
区長会、議会議員、民  
生委員、商工会、警察、  
消防、建築業組合等か  
ら町長と相談し決定す  
る。

## 社会経済常任委員会 管内視察報告

6月17日、社会経済常  
任委員5人、議長及び職  
員3人で町内設置の有害  
鳥獣「檻、罠」数箇所及  
び荒船の湯空調設備を視  
察した。

今回の視察は、有害鳥  
獣の被害状況が深刻化す  
る中、中小坂の二岩地区  
にて、サルサルの囲い罠による  
の実証実験を行っている  
のを受けて、他の箇所  
の設置状況を把握したい  
の思いから実施すること  
にした。

イノシシの箱罠4カ所  
及び囲い罠1カ所を見学  
したところ、誘引するた  
めのエサもあり適正に管  
理されていたが、中には  
エサが腐っていて、仕掛  
けがセツトされていない  
箇所もあった。

また、サルサルの箱罠5カ  
所及び囲い罠1カ所を見  
学したところ、囲い罠の  
大きさは縦7・2m、横  
5・4mあり、平成28年  
5月9日から実証実験が

開始され、5月23日には  
定点カメラで、サルが屋  
根の上や周辺に出没して  
いた。屋根から地面まで  
の高さは2・7mあるた  
め、エサ台を高くする改  
善が必要であると感じ  
た。エサがなくなる3月  
頃が最も罠にかかる時期  
なので、長い目で見守る  
必要がある。

猟友会の日々捕獲の苦  
労は理解している。視察  
した結果、イノシシの捕  
獲頭数は、くくり罠に比  
べ箱罠はやや低く、サル  
は、箱罠に入る時期等に  
より捕獲頭数が左右され  
るため仕掛けが未実施の  
箇所もあった。適正な管  
理と有効活用をするため  
場所の移動も含め検討し  
ていただければと思いま  
す。今後、有害鳥獣の  
捕獲を高めるため、行政  
と猟友会が一体となって  
取り組む必要がある。

また、「檻、罠」の各  
所在地には「蛭」の多い

のには驚いた。猟友会の  
方々や、近隣の方々のた  
めにもきちんと蛭の駆除  
対策が必要だ。

荒船の湯の工事は、平  
成26年度の繰越事業で実  
施され、空調設備交換工  
事453万6000円で  
株式会社ヤマトが、内装  
工事270万8000円  
で株式会社岩井工建によ  
り厨房と大広間のカウ  
ンター、LED照明、クロ  
スの張替え等の改修工事  
が施工されたとのこと。

荒船の湯は、改修され  
たことにより大広間は明  
るくなり、来場者をもて  
なす準備がさらに整った  
と感じた。一層、売上げ  
や集客率を高めるため  
は、宴会に迅速に対応で  
きる体制を構築する必要  
がある。

(委員長 木暮弘元)



吉崎ほたる山公園東

新型の囲いワナを使用 (猿捕獲の実証実験中)





# 審議結果

## 6月定例会

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表しています

議案番号	議案名	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	原秀男	岩崎正春	高瀬政信	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	審議結果
	議員派遣の件について（報告第1号）												
	平成27年度下仁田町繰越明許費繰越計算書について（報告第2号）												
	甘楽郡土地開発公社経営状況の報告について（報告第3号）												
41	専決処分の承認を求めることについて （下仁田町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
42	専決処分の承認を求めることについて （下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
43	専決処分の承認を求めることについて （下仁田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
44	専決処分の承認を求めることについて （平成27年度下仁田町一般会計補正予算（第7号））	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
45	専決処分の承認を求めることについて （平成27年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
46	専決処分の承認を求めることについて （平成27年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	承認
47	下仁田町鳥獣被害対策実施隊員条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
48	下仁田町ガス供給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
49	下仁田町子育て支援基金条例	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
50	下仁田町空家等対策の推進に関する条例	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
51	土地の処分について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
52	平成28年度下仁田町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	下仁田町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	同意
54	高瀬政信議員に対する辞職勧告決議について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
55	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書採択に関する陳情書（陳情第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

## 7月臨時会（7月21日開催）

議案番号	議案名	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	原秀男	岩崎正春	欠員	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	審議結果
	議員辞職許可について（報告）												
	甘楽西部環境衛生施設組合議会議員の補欠選挙について （選挙第2号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
56	下仁田町学校給食共同調理場建設工事請負契約について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
57	財産の取得について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決
58	訴訟の提起について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	可決

※佐藤勇二議長を除く10人で採決を行います。

④ 下仁田町消防団



土谷沢地区で行われた町の防災訓練の様子

第二分団 分団長 土谷 友司さん

下仁田町消防団第二分団は、土谷沢・上青倉地区の第1部、下青倉・大桑原・風口・宮室の第2部で、分団長以下36名、消防ポンプ車1台、可搬ポンプ車3台で構成されています。

活動内容としては、火災発生時はもちろんの事、自然災害発生時や行方不明者の搜索等も行います。

また、1カ月に1度、両部で火防を行い、担当地区を巡回して回り、水利の点検や、火災予防広報をする火防を行っております。

昨年(2015年)の11月には、土谷沢地区で町の防災訓練を実施しました。土谷沢地区では、水害、雪害等が多いため、区長、防災委

員を中心に災害時の確認を行い、いざという時の救命講習も行いました。地域住民の皆様にご協力、ご参加を賜り誠にありがとうございました。

ここ数年、新入団員が減少しています。是非消防団に興味を持っていただき、若者に消防団に参加していただきたいと思っています。

これからも予防、消防に努めてまいります。



第二分団に配備される小型消防車



土谷沢地区でのAEDを使った訓練

議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は9月の予定です  
議会傍聴をお待ちしています。  
日程などのお問い合わせは

☎64-8810



編集室から

7月の選挙から、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。国では、政治や選挙への関心を高めるために高校生向け副教材を配布し、各新聞社でも特集記事を組むなど、様々な取り組みを行ってきました。

心を持ってもらう機会を提案しました。

高投票率には結びつかなかつたようですが今後、投票率が上がっていくことを期待します。

広報発行特別委員会

委員長 永井正之

副委員長 岡田邦敏

委員 木暮弘元

委員 原 秀男

委員 岩崎正春

委員 島崎紘一

町議会でも、6月定例会で地元の高校生に議会を傍聴していただき、少しでも政治に関